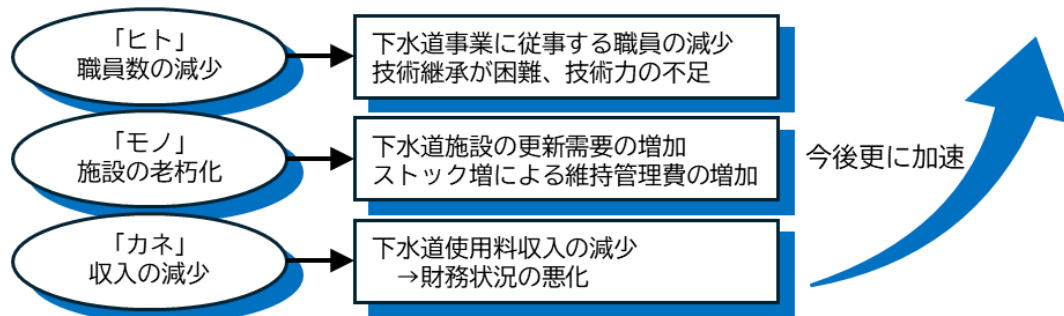


水の官民連携（ウォーターPPP）の導入に向けた取組について

1 概要

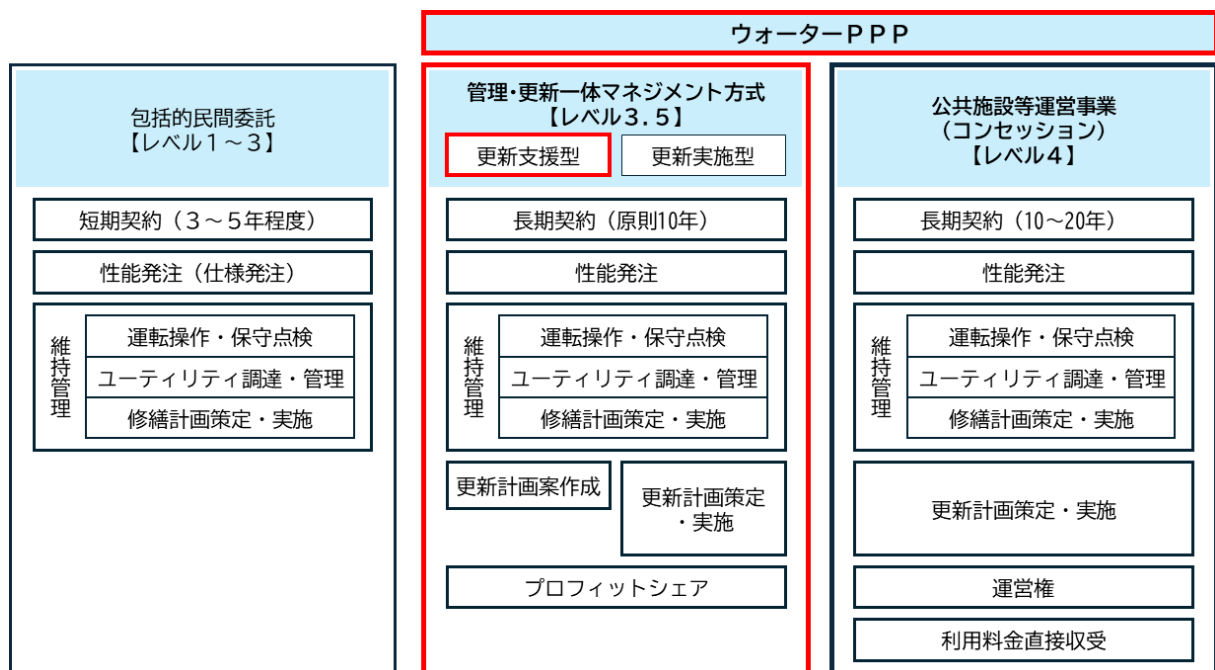
本市では「持続可能な下水道の構築」を目指し、「ヒト・モノ・カネ」の各課題に対応するため、現在、水の官民連携（ウォーターPPP）の導入に向けた取組を進めており、その取組状況について報告します。



※国は「ウォーターPPP」の呼称を「水の官民連携」に変更しましたが、内容等の変更はありません。

2 対象処理区及び対象施設について

本市では、令和7年度に導入可能性調査を実施し、民間事業者に対してサウンディング調査（市場調査）を行った結果、「朝霧処理区及び船上処理区」の「ポンプ場・処理場（マンホールポンプを除く）」を対象とし、「管理・更新一体マネジメント方式（更新支援型）【レベル3.5】」を導入する方針を決定しました。





3 これまでの取組状況

内閣府のPPP/PFI推進アクションプラン(令和5年改定版)において、污水管の改築に係る国費支援に関し「ウォーターPPP導入を決定済み」であることを令和9年度以降に要件化することが明記されているため、現在、本市においても導入に向けた取組を進めているところです。

(1) ウォーターPPP事前検討会議（令和6年度）

都市局下水道室(当時)の係長級を中心としたウォーターPPP事前検討会議（以下「事前検討会議」という。）を立ち上げ、下水道事業における課題の抽出並びにウォーターPPPの対象とする施設及び業務についての事前検討を行いました。

事前検討会議において、本市では管理・更新一体マネジメント方式の導入を軸に今後検討を進めていくこととしました。

(2) ウォーターPPP導入可能性調査（令和7年度）

ウォーターPPP導入可能性調査業務を実施し、計3回のサウンディング調査を行った結果、2に示す方針を決定しました。

① 第1回サウンディング調査

目的：本市のウォーターPPP導入に関する民間事業者の意向等を把握する。

日程：令和7年12月8日(月)～令和8年1月9日(金)

方式：指名アンケート方式

対象：38社（うち市内業者28社）

※本市下水道事業における主要業務の受注実績のある民間事業者

回答：26社（うち市内業者18社） 回答率68%（市内業者64%）

② サウンディング調査説明会

日程：令和7年12月17日(水)、18日(木)、19日(金)（全3回）

対象：上記①の対象事業者

参加：18社（うち市内業者11社）

③ 第2回サウンディング調査

目的：第1回サウンディング調査結果を踏まえ、対象施設を示した上で、ウォーター P P P 導入に関する民間事業者の意向等を把握する。

日程：令和8年1月30日(金)～2月27日(金)

方式：公募型アンケート方式

回答：16社（うち市内業者3社）

④ 第3回サウンディング調査

目的：第2回サウンディング調査結果を踏まえ、統括管理業務及び維持管理業務に係る事業費の考え方について、民間事業者の意見を徴取する。

日程：令和8年3月11日(水)～3月24日(火)

方式：指名アンケート方式

対象：6社（うち市内業者1社）

※第2回サウンディング調査で回答があった民間事業者のうち、本市のウォーター P P P 事業において担当を希望する業務として「統括管理」、「維持管理(運転管理)」、「維持管理(保守管理)」のいずれかを選択した事業者

回答：6社（うち市内業者1社）

4 今後の予定^{※1}

令和8年度 入札公募準備、入札公募^{※2}

令和9年度 事業者選定、契約・引継ぎ

令和10年度 事業開始

※1 上記は現段階の予定であり、今後の検討状況により変更となる場合があります。

※2 入札公募をもって「ウォーター P P P 導入を決定済み」とみなされます。